

## 鹿屋市立串良小学校 特別の教育課程の実施状況等について

## 1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	2 0	2 0	3 5	3 5	7 0	7 0	2 5 0
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book Picture Dictionary	教科書 My Book Picture Dictionary	

## 鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒に作り、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」を育成を目指します。

## 2 本校の教育目標

自ら学び、心も体も健康で、みがき高め合う串良の子を育てる

## 3 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

## (1) 1・2 年生の取組

鹿屋市の英語学習指導計画に基づき、年間 20 時間実施している。  
基本的に A L T、J T E と連携して授業を行っている。

## (2) 3・4 年生の取組

鹿屋市の英語学習指導計画に基づき、年間 35 時間実施している。  
基本的に A L T、J T E と連携して授業を行っている。

## (3) 5・6 年生の取組

鹿屋市の英語学習指導計画に基づき、年間 70 時間実施している。  
基本的に A L T、J T E と連携して授業を行っている。

## (4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）

第5区に所属し、英語担当職員が会議に出席する。会議の内容を他の職員に周知し、共通理解・共通実践するように努めている。

(5) 校内研修体制について

放課後の校内研修において、英語をテーマにした研修は実施していないが、第3学年以上は、基本的に学級担任がT1として授業を進めるようにしており、ALTやJTEのサポートを受けながら、日々の授業実践を通して研修を深めているという現状である。

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
楽しい	93.5%	62.4%	45.8%	42.5%	48.2%	56.6%
どちらかというと楽しい	6.5%	12.4%	30.4%	23.6%	32.8%	23.6%
あまり楽しくない	0.0%	14.6%	21.5%	28.1%	16.6%	10.5%
楽しくない	0.0%	10.6%	2.3%	5.8%	2.4%	9.3%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
42.5%	57.5%	%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 実践的な英語を学べると良い。
- ・ 英語教育に関わる人材（英語専科等）の増員
- ・ 英語の音声に慣れ親しみ、英語を聞き取る力を身に付けさせたい。
- ・ 英語に対する興味、関心が高まるような授業実践

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは、英語の授業が好きですか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
46.8%	32.5%	12.6%	8.1%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 楽しく学べる英語学習
- ・ 英語を好きになるような英語学習
- ・ ネイティブな講師との交流

- ・ 英語を身近に感じられるようになってほしい
- ・ 自分から英語に興味、関心をもち、進んで学ぶ姿勢
- ・ 積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度
- ・ 発達段階や個人に応じた指導
- ・ 英語を聞き取る力の育成
- ・ 外国の人に対しても、物怖じせずにコミュニケーションを取ろうとする姿勢
- ・ 中学校への橋渡しになるような英語力の定着
- ・ 正しい発音やアクセントで話せる力
- ・ 英語が日常的に使えるような環境づくり
- ・ 英語をきっかけに、外国や異文化に対する興味・関心を高めてほしい
- ・ 英語の学習をとおして、日本以外の外国、世界に対して視野を広げてほしい。
- ・ 文法や単語を覚えることよりも、コミュニケーションツールとしての英語力を身につけてほしい。

#### (4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
80.0%	20.0%	0.0%	0.0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述、一部抜粋)

- ・ 英語を楽しみ感じてほしい。
- ・ 外国人に対して臆することなくコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身に付けてほしい。
- ・ 外国人とのコミュニケーションを図れる機会を多くもってほしい。
- ・ 英語を含めて、外国語や異文化を受け入れる意欲や態度を育ててほしい。
- ・ 英語嫌いにならないような授業の工夫をしてほしい

### 5 令和4年度の取組について

#### (1) 1・2年生の取組

鹿屋市の英語学習指導計画に基づき、年間20時間実施している。  
基本的にALT、JTEと連携して授業を行う。

#### (2) 3・4年生の取組

鹿屋市の英語学習指導計画に基づき、年間35時間実施している。  
基本的にALT、JTEと連携して授業を行う。

#### (3) 5・6年生の取組

鹿屋市の英語学習指導計画に基づき、年間70時間実施している。  
基本的にALT、JTEと連携して授業を行う。

- (4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議（小中一貫教育）について  
第5区に所属し、英語担当職員が会議に出席する。会議の内容を他の職員に周知し、共通理解・共通実践するように努める。
- (5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会（小学校：スキット部門）について  
JTEのサポートを受けながら、大会出場に向けて準備を進めていく。代表児童（6年生）を中心に、全ての児童に取り組みさせる。
- (6) グローカル・イングリッシュキャンプについて  
全児童に周知し、希望者が参加するようにしている。
- (7) 国立台北教育大教育実習生の受入による交流授業並びに遠隔授業について  
現段階では、具体的な実践の計画を立てていない。
- (8) スピーキングクエストの実施について  
市教委の指導のもと、確実に実施する。
- (9) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について  
英語の指導力の向上を目指して、日頃の授業実践をとおして、互いの授業反省等や交換を重ねながら、個々のスキルアップを図る。